

2017年8月24日

AGC 旭硝子、第11世代 TFT 液晶用ガラス基板の製造窯を中国で建設

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、旭硝子顯示玻璃（惠州）有限公司（広東省惠州市仲恺開發区）に第11世代TFT液晶用ガラス基板の製造窯を建設します。本件投資にあたっては、AGCグループ内から最新鋭の設備を移設することにより、グループの総生産能力を維持し、また設備投資額を大幅に圧縮します。なお、本日現地にて同製造窯の鋤入れ式を行いました。量産開始は、2018年4Q～2019年1Qの予定です。

近年、中国ではTFT液晶用パネルの生産量が増加しており、これに伴いガラス基板の需要も急速に拡大しています。AGCグループは、こうした需要拡大に対し、江蘇省昆山市、広東省深圳市に加工拠点を、広東省惠州市に素板製造拠点を置き、供給体制を整えてきました。

今後は特に第11世代ガラス基板を使用するTFT液晶用パネルの需要が大きく増える見込みであることから、同サイズ専用のガラス基板製造窯を建設することとしました。



鋤入れ式

AGCグループは、経営方針 **AGC plus** の下、液晶用ガラス基板事業において、キャッシュ創出を最大化する供給体制を構築し、お客様に「新たな価値・機能」と「信頼」をプラスするとともに、企業価値の向上を目指します。

以上

* 第11世代のガラス基板サイズ：3,370mm×2,940mm

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 玉城和美

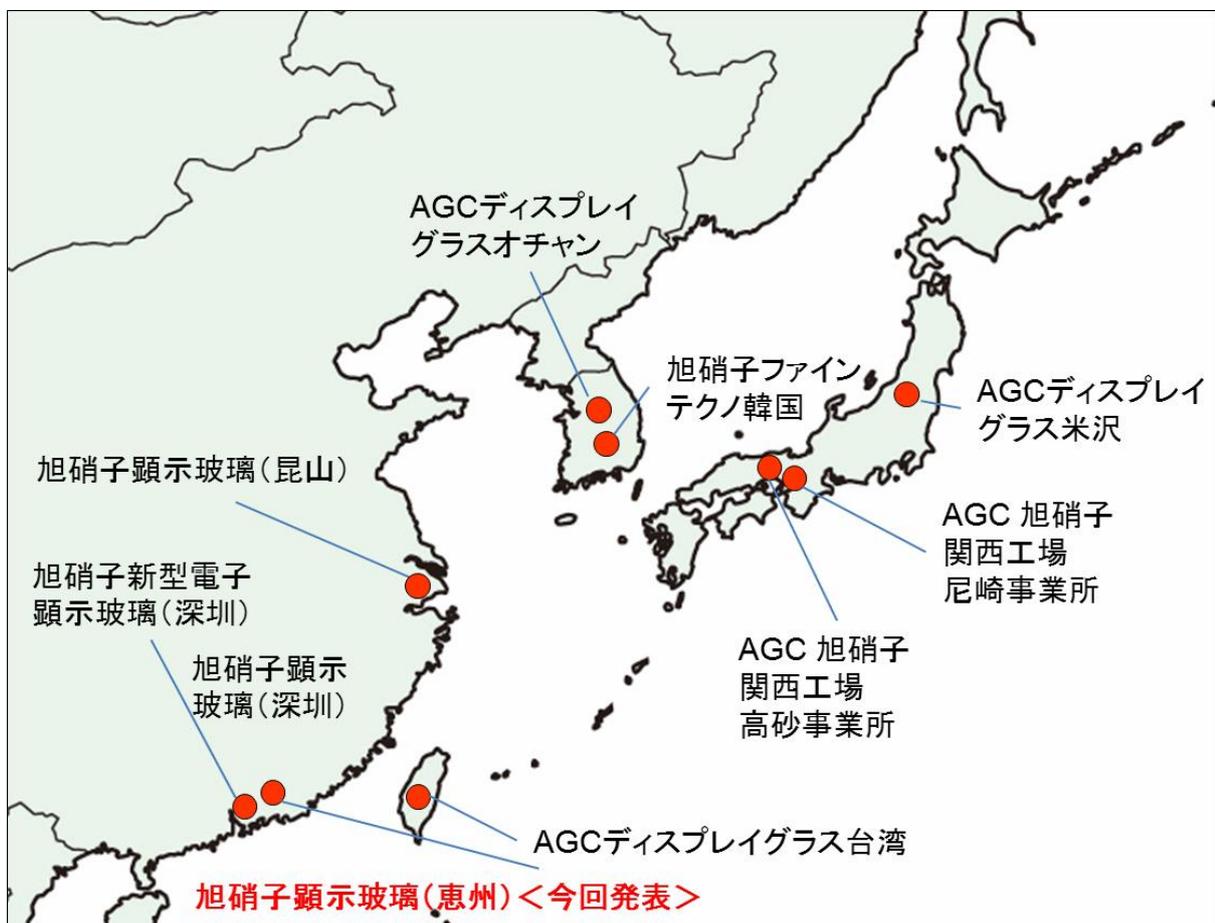
(担当：高橋 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

<ご参考>

■旭硝子顯示玻璃（惠州）有限公司の概要

- (1) 所在地 中華人民共和国 広東省 惠州市 仲愷開發区
- (2) 設立年月 2015年5月
- (3) 出資比率 旭硝子株式会社：100%
- (4) 事業内容 TFT 液晶用ガラス基板の製造・販売

■AGCグループのTFT液晶用ガラス基板生産



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 玉城和美

(担当：高橋 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)